

令和 8 年度病害虫発生予察特殊報第 1 号

令和 8 年 8 月 26 日
静岡県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 ショウガ褐色しみ病
病原菌 *Musidium stromaticum* (W. Gams & R.H. Stover) Giraldo López & Crous
- 2 発生作物 葉しょうが (ショウガ科)
- 3 発生経過
 - (1) 県中部の葉しょうが産地において、以前から収穫時に根茎表面の着色、へこみ等の症状により、生産物の廃棄や、商品価値が低下する事例が発生していた。
 - (2) 令和 8 年 3 月、同産地の葉しょうがほ場において、収穫時に同症状の発生が認められた。
 - (3) 当該の根茎から、静岡県農林技術研究所で菌の分離、観察、接種を行ったところ、ショウガ褐色しみ病菌と形態の特徴が類似し、ショウガ根茎切片に腐敗性を示す糸状菌 (図 1) が分離された。分離菌を農林水産省名古屋植物防疫所に同定依頼したところ、形態観察、病原性試験、塩基配列解析により、*Musidium stromaticum* と同定された。したがって、本症状は本県未発生のショウガ褐色しみ病と診断された。
- 4 発生状況
本病は、令和元年に高知県で初めて発生が確認され、その後、和歌山県、岡山県で発生が報告されている。
- 5 病徴
 - (1) ショウガの根茎表面に、褐色で円形～不整形の病斑が形成される (図 2)。当県の葉しょうがでは、根茎のへこみや裂開症状からも同菌が高率で分離されている (図 3、4)。
 - (2) 地上部の症状はほとんど認められない場合が多い。
- 6 発生生態
種根茎による病原の持ち込みや、土壌伝染が疑われる。
- 7 防除対策
 - (1) 本ぼ、種根茎ほ場ともに健全な種根茎の確保に努める。
 - (2) 本ぼ、種根茎ほ場ともに定植前に土壌消毒を実施する。
 - (3) 本症状が確認されたほ場で用いた機材は、洗浄、消毒し、健全ほ場への病原の持込みを防止する。



図1 ショウガ褐色しみ病菌の PDA 培地上の菌叢(左) と分生子(右)



図2 根茎に形成された褐色の病斑



図3 根茎のへこみ、裂開症状



図4 発病根茎の外観

【問合せ先】静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘 678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1058658/boujo/index.html>

